

平成17年度 第1回金沢市入札制度評価委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成17年11月11日(金) 金沢市役所 202会議室	
委員 (委員数3名) (出席数3名)	委員長 鴨野 幸雄(金沢大学名誉教授) 委員 春成 保(公認会計士) 委員 川村 國夫(金沢工業大学教授)	
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長選任(委員の互選による) 3 委員長あいさつ 4 工事に係る入札・契約の手続きの運用状況等 <ol style="list-style-type: none"> ① 平成17年度の発注工事について(総括) ② 発注工事に係る平均落札率について ③ 工事成績評点について ④ 入札参加資格停止等の運用状況について 5 平成16年度の入札制度評価委員会の意見と本市の措置状況 <ol style="list-style-type: none"> ① 工事成績評点と落札率との関係について ② 最低制限価格で落札した業者の実体調査について ③ 工事成績評点の利活用について ④ 技術職員研修の充実について ⑤ 情報公開の推進について 6 報告に係る審議 7 抽出案件に係る審議 8 閉会 	
審査対象期間	平成17年2月1日～平成17年9月30日	
抽出案件	9件	
	制約付き一般競争入札	2件 ・金沢市立第2田上小学校(仮称)校舎新築工事(建築工事) ・金沢市東部クリーンセンター基幹的改良工事(燃焼設備等改良工事)
	公募型指名競争入札	2件 ・幸町・涌波線道路改良工事(その2) ・重要文化財旧石倉家住宅移築修理工事
	指名競争入札	2件 ・田上2丁目地内(23工区)及び(8-1工区)管渠築造工事並びに(23工区)舗装復旧工事 ・城北水質管理センター機械棟耐震補強工事及び改築工事
	随意契約	1件 ・消雪遠隔制御装置整備工事
	委託業務	2件 ・準用河川柳瀬川改修工事に伴う測量設計業務委託 ・玉川こども図書館(仮称)整備工事基本設計業務委託
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による報告 又は意見の具申	平成16・17年度の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。	

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1
金沢市総務局監理課
電話:076-220-2101

<p>総 括</p>	
<p>各委員からの意見は、概ね以下の通りであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. よりいっそう優良施工に対する意欲を高めるよう工夫する事。 2. 最低制限価格での落札業者について、継続して実態調査する事。 3. 価格競争のみでなく、民間の技術力を取り入れる工夫をすべきである。 4. 引き続き、職員の意識改革および技術力の向上に努める事。 5. 個別工事の入札/契約事務の執行については、特に指摘事項はない。 <p>なお、意見の詳細は次のとおり。</p>	
<p>意 見 ・ 質 問</p>	<p>回 答</p>
<p>1 工事に係る入札・契約手続きの運用状況等について</p> <p>○ 落札率の推移と工事成績の評点とが反比例しているように見えるがどう考えるか。</p> <p>○ 最低制限価格での落札が多数あり、落札率低下の要因の一つのように見受けられるが、最低制限価格での落札が多発する原因をどう見ているか。</p> <p>○ 上半期での発注率はどれくらいか。</p> <p>○ 品確法は発注者が監督・検査の責務を負い、低価格の入札について厳しくチェックせよという趣旨である。国はヒアリング等で厳しくチェックしているが、金沢市はどう対応しているのか。</p> <p>○ 75%の最低制限価格で複数者が入札した場合抽選で落札者を決めるとしているが、市が持つ主観点数等のデータを利用して決めるとい考えはないか。抽選という偶然性を避けて、より客観性のある競争性を発揮させる事を考えて欲しい。</p> <p>○ 評点が高く、指名回数が増えた業者が103社あるが、それぞれ何回増やしたかをホームページに載せて公表すれば業者の意欲をより高める事になると考えるが、どうか。 優良な施工が自社にとって有利な効果があると実感できる事が必要である。</p> <p>○ この数年間で変化があり、業者は一生懸命対応している。こういう制度は非常に効果があるので、より優良施工に対する意欲を誘導するようにしていくべきである。</p> <p>○ 最低制限価格で落札した業者の実態調査が非常に細かく参考になる。倒産が少なく一安心した。毎回とは言わないが、最低制限価格での落札が続くようならば、今後も調査してほしい。</p>	<p>・ 落札率は入札の結果を単に数字で表したもので、落札率の低下が工事成績評点の上昇につながっていると簡単にはいえないと考えている。</p> <p>・ 最低制限価格での落札は、土木、電気、防水、造園に集中している。特に防水工事などは、民間では一括発注され下請として参加する工種が、市発注工事では元請けとして受注できる機会であるので、競争激化の原因となっていると思われる。</p> <p>・ 件数ベースでは4割程度、金額ベースでは5割を超えている。工期の問題もあって、大型案件は上半期でほぼ出つくし、下半期は比較的金額の小さい工事が多くなる。</p> <p>・ 落札率が75%を切ったものを重点調査の対象とし、客観的に施工可能だと言える書類を提出させている。下請、資材納入業者を対象としたヒアリングも行い、調査はプロジェクトチームを作って対応している。</p> <p>・ 公平性、透明性で問題があると考えている。過去の工事成績の優れた方を採用するという考え方もあろうが、市では情報をオープンにしており、業者が75%で入れれば自分が落札できると予測できるケースもあり、競争性の面で危惧される部分でもある。また、基準の設定が難しく、全員が集まっている中でくじ引きで公正に決めた方がいいと考えている。</p> <p>・ ホームページには何回増えたかという具体的数字は載せていないが、優良業者名、工事名、点数をすべて載せており、同業他社との比較はできる。各年度の発注件数が一定ではなく、絶対数の掲載は難しいが、工夫していきたい。</p> <p>・ 成績評点を上げるためにプロジェクトを作って研究努力をしている会社もあると聞いており、引き続き努力したい。</p> <p>・ 状況を見ながら、引き続き調査したい。</p>

意見・質問	回答
<p>○ 低入札価格で落札した場合には厳格な調査をしているということだが完成した工事の品質に問題はないか。</p> <p>○ 優良施工に対する意欲を引き出し、企業努力を促していくようにしてもらいたい。</p> <p>○ 価格と共に品質を追求する事がこれまで以上に求められるようになるわけだが、総合評価方式についてはどのように考えているか。</p> <p>○ 成績評定において、監督員とその上司が中間評定を行うことはいい制度だと思うが、いつから実施しているのか、またホームページにも載せているのか。</p> <p>○ 監督・検査業務は発注者の責務であり技術の向上を図らねばならないが、その研修の成果・運用状況はどうか。</p> <p>○ 職員の能力向上を図ることが一番大事であるので、引き続き努力をお願いしたい。</p> <p>○ 電子入札の導入については、事務の省力化と、一般競争入札の増加が可能という利点がある。競争性の観点から一般競争入札を取り入れるべきとは考えるが、国と違って市は地域性を考慮すべきで、例えば市域をいくつかに分割してそれぞれの地区の業者しか入札に入れないという方法も取ったりすべきだと思うが。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落札率が低いから工事の質が悪いということはない。全国的なデータも出ている。また、適正な検査をして問題ない事を確認している。 ・ 引き続き努力したい。 ・ 今後の課題であると認識している。 ・ 平成17年11月から実施しているが、ホームページには載せていないので、今後載せていきたい。 ・ 聴講型の研修から、参加型の研修になってきており、CADを使った自主設計も行っている。部局を超えたテーマを討議する事で、積極性も出てきている。 ・ ご指摘のとおり、職員が下した評定が業者の行く末を左右することにもなるので、不断の努力でレベルアップを図っていきたい。 ・ 参加業者が絞られるので、却って談合しやすい状況になってしまうのではないかと考えている。また、独占禁止法に抵触するおそれがある。始めたばかりでもあり、3年間の試行結果を見てからと考えている。 また電子入札は、パソコン、インターネットが不得手な業者がいるので、従来の紙での入札対応も当面は残るだろう。 透明性・競争性の観点から、一般競争入札を拡大すべきではあるが、品質確保などの考えるべき問題もあり、整合性を図っていくのが課題である。

意見・質問	回答
<p>2 委員が予め抽出した工事に係る業者選考等の経緯</p> <p>金沢市立第2田上小学校（仮称）校舎新築工事（建築工事）</p> <p>○ この工事の監理は市が行うのか建築事務所が行うのか。</p> <p>○ 監督員と建築事務所の監理する者はどういう関係、立場になるのか。</p> <p>金沢市東部クリーンセンター基幹的改良工事（燃焼設備等改良工事）</p> <p>○ 一般競争入札であり、また特殊な工事でもあるが、下請に地元の業者を入れることはできないのか。</p> <p>○ 地元業者の社員が大手メーカーの工事に参加して技術力を磨くというようなことはやっているか。</p> <p>幸町・涌波線道路改良工事（その2）</p> <p>○ 以前、同じ地区で施工していた業者と違う業者が落札しているが、業者が代わっても同じような品質で施工できるのか。</p> <p>○ 電子入札を実施した結果、感触はどうか。</p> <p>○ 公募型の参加条件に平均成績評定を導入するのはいつからか。</p> <p>○ 業者は自社の平均成績を把握しているか。</p> <p>重要文化財旧石倉家住宅移築修理工事</p> <p>○ 金沢市は文化財保存に力をいれているが、地元業者もこのような工事経験をもっているのか。</p> <p>○ この工事は公募型指名競争入札であるが、過去2年間の成績評定に数字が入っていない業者があるがどうか。</p>	<p>・ 別契約を結んだ建築事務所が行う。</p> <p>・ 営繕課職員は監督員で、建築事務所側は準監督員という関係になる。役割分担は、監理契約で定められる。</p> <p>・ この基幹的改良工事の発注にあたっては、メーカーでなければできない部分と、地元業者の入れる付属部分とに分けている。 また、地元業者が施工を担当する部分があるならば、地元業者とメーカーのJVを組むことになるが、ほとんどがメーカーの工場製作費ということであればJVを組む意味がないのでメーカー単独ということになる。 地元の業者を育成するために、可能な限り分離、分割して発注するよう努めている。</p> <p>・ 大手メーカーが持ってきたものを、地元業者が組み立てるようなことはしている。これは、オーバーホールや事故等緊急の事態の時にも役に立っている。</p> <p>・ 設計図書で指示しており、一定の品質を保って施工するので、問題なく施工できる。</p> <p>・ 順調に実施でき、15分程度で開札できた。課題はパソコン、インターネットが不得手な業者で、市で操作研修を行う。</p> <p>・ 今年4月から、過去2年の平均成績評点70点以上で実施している。</p> <p>・ できている。19年度からは平均75点以上という設定で実施するが、一部で対応できなくなる業者が出る可能性がある。ただし、そのような業者でも1億円未満の工事なら参加できるので、挽回のチャンスはある。一生懸命努力している業者が多くなってきている。</p> <p>・ これまでも地元業者が大手と組んでこのような解体移築工事参加した例がある。大手と組む事によって施工能力を高めようとするものである。</p> <p>・ 過去2年間に工事を施工した実績があれば点数をいれるが、実績がなければ入れられない。建築Aクラスの工事の発注数は少なく、全業者が実績を作れるわけではない。</p>

意見・質問	回答
<p>○ 文化財に対する検査体制はどうなっているか。</p> <p>・ 田上2丁目地内（23工区）及び（8-1工区）管渠築造工事 並びに（23工区）舗装復旧工事</p> <p>○ 低入札価格調査制度に基づき調査されているが、問題はなかったのか。</p> <p>城北水質管理センター機械棟耐震補強工事及び改築工事</p> <p>○ 発注標準を上回るランクで指名しているが、耐震工事は高度な技術が必要なのか。下請けは入っているのか。</p> <p>○ 工事成績評定で、優秀な業者は指名回数を増やすと同時に、ランクをまたがって受注できるようにするつもりはないのか。実際に全国的には実施されているのだが。</p> <p>消雪遠隔制御装置整備工事</p> <p>○ 一般的に随意契約は落札率が高くなる。発注者と業者の話し合いで契約金額を決定するのか。</p> <p>準用河川柳瀬川改修工事に伴う測量設計業務委託</p> <p>○ 護岸工事については実施設計の発注だが、そこに架かる橋を予備設計から発注しなければならない理由は何か。</p> <p>○ 基本設計は大事であるが、予備設計、修正設計などと、コストがかかる、担当者が代わると元に戻ってしまう等問題が多い。なるべく実施設計に近づけるべきである。</p>	<p>・ 本工事は建築工事だが、建築工事の担当者が建築専門に検査している。歴史建造物整備課が発注した工事だが、国の重要文化財の工事には文化庁が認めた資格を持つ技術者が工事監理をする事が必要となる。文化財関係に強い近畿大学の研究室に職員を派遣し、技術の習得に努めており、十分監督も検査もできると考えている。</p> <p>・ 調査した結果、品質を落とさずに施工できることが確認できたので落札決定した。</p> <p>・ 耐震工事はやや高度な工種だが、さらにこの工事は処理場の機械類を動かしたまま耐震化工事を行うという高度な技術を必要とする工事であるため、最新の技術、高い監理能力を持ったAランクでの施工が必要であると考えた。 また、建築工事は工種が多々あり、下請は必ずはいることになり、本工事にも入っている。</p> <p>・ ランク混合入札は考えていない。成績評点等の主観点数によって加点された結果、格付けが上がるということはあるので、優良な工事成績を上げると結果的に上位ランクの案件に参加できるようになる。</p> <p>・ 見積書を徴収する。ご指摘のとおり、随意契約は競争相手がいないため、落札率が高くなる傾向にある。</p> <p>・ 柳瀬川は昭和58年度から工事にかかり、上流側は平成16年度暫定的に工事が済んでいる。今回本格改修ということで、護岸については実施設計をした。水門と橋梁については工事も測量もまだ実施していないため、予備設計を行うことにした。</p> <p>・ 今回は、既設の横に水門を新設するということで予備設計としたものである。</p>

意見・質問	回答
<p>玉川子ども図書館（仮称）整備工事基本設計業務委託</p> <p>○ この業務は随意契約されているが、それ相当の理由があるのか。また、今回は基本設計ということだが、実施設計まで同じ業者がするのか。</p> <p>○ この工事は新築なのか。</p> <p>○ 全てが改修ではなく、部分的改修なのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玉川図書館の工事設計はJVを組み、この業者が参加して実施設計をしており、コンセプトの統一をはかるため随意契約とした。 ・ 日本たばこ産業の既存の建物を部分改修して利用するもので、隣接する県の玉川公園等と一体的、統一的に整備を行うことを考えている。 ・ 部分的に建物を改修し、統一的な景観に配慮しながら工事をする。